

T O P I C S

産地で実習形式の 織物欠点解析講習を開催

－物性試験や拡大観察から欠点原因を検討－

繊維生活部 神谷 淳 (かみたに じゅん)

kamitani@irii.jp

専門：繊維物性、有機化学

一言：工業試験場の利用をお待ちしております。



繊維生活部では、能登テキスタイル・ラボ(中能登町)に週1回、(一財)石川県繊維検査協会(小松市)に月1回、職員が定期的に出向いて産地企業からの相談や試験依頼に対応する拠点技術指導を実施しています。

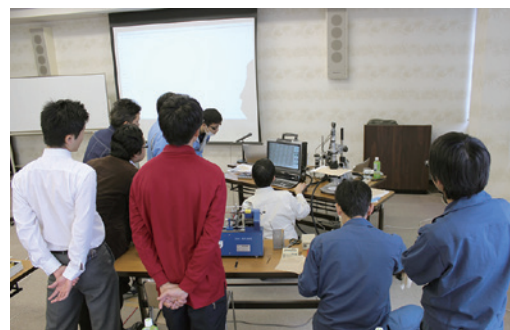
こうした中、県内繊維産地企業の生産技術向上や次世代の人材育成を目的とした北陸繊維産地連携高度人材育成事業(主催:㈱繊維リソースいしかわ)の一環として、織物欠点解析に関する講習を昨年10月29日(木)に能登テキスタイル・ラボで開催し、中能登地区を中心とした繊維製造業者9名の参加がありました。

講習は欠点生地を用いた実習形式で行い、織度、より

数、フィラメント数といった物性試験やマイクロスコープによる拡大観察等から欠点原因を検討してもらいました(図)。普段、生産や品質管理などに携わっている参加者からは、具体的な質問が多数寄せられ、関心の高さが伺われました。

併せて、工業試験場が解析してきた繊維製品の欠点事例をデータベース化し、工業試験場のホームページで調べることができるようにした「せんい欠点データベース」の使用方法についても説明しました。

繊維生活部では、このような講習のみならず、繊維に関するご相談を随時受け付けております。困ったことがございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。



□ 講習の様子